

# いながわ 特派員報告



中橋 弥里



木下 美由紀

歴史・民俗資料館「ふるさと館」には、実際に使用

## 歴史資料館と町史

19世紀に発明された写真は、時代を記録する手段として画期的なものでした。記録を目的としていないスナップ写真でも、髪型や服装によってその時代の様子が現れています。今回紹介する写真は、過去の瞬間を切り取った郷土の歴史の1ページですが、今日の発展が先人達の苦勞や努力の賜物だということを私達に教えてくれます。

## 写真は歴史の証言者

最近では小型のデジタルカメラやカメラ付き携帯電話の普及で、手軽に写真を撮影できるようになりましたが、写真がまだ今ほど身近でなかった頃から、人々は暮らしのさまざまな場面に写真に残してきました。今回は、町史編さんの際に提供されたものなど歴史のある写真を紹介します。

されていた生活用具などが多数展示され、町の伝統的芸能や産業、昔の暮らしを知る事ができます。また、猪名川町史には今回紹介する写真の多くが掲載されており、その歴史背景がくわしく記されています。

# 写真は語る！猪名川町の歴史



六瀬地区の有線放送電話が開局(昭和36年) 昭和35年10月より中谷農業協同組合、昭和36年9月には六瀬農業協同組合の有線放送電話が開局しました。

有線放送電話は、放送と通話を兼ね備えたもので、放送では農業ニュースや婦人会の活動、俳句や浄瑠璃などの文化活動も紹介し、加入者は生活全般の情報を受け取ることができました。

しかし、一般電話の普及などにより、存在意義が弱まり、昭和49年に廃止となりました。



阪急バスが柏原に乗り入れ (昭和36年1月)

それまでは柏原口までの運行でしたが、現在の終点である柏原まで延長され、通勤・通学者数の増加にともない便数も増えて広く利用されました。行き先表示に池田の文字が見えます。



素人芝居 (昭和30年頃)

猪名川町は浄瑠璃や歌舞伎が盛んで、現在のような多彩な楽しみができるまで、人々はプロの芝居一座を呼んだり、自分達で演じて楽しんでいました。これは清水地区での素人芝居の写真です。



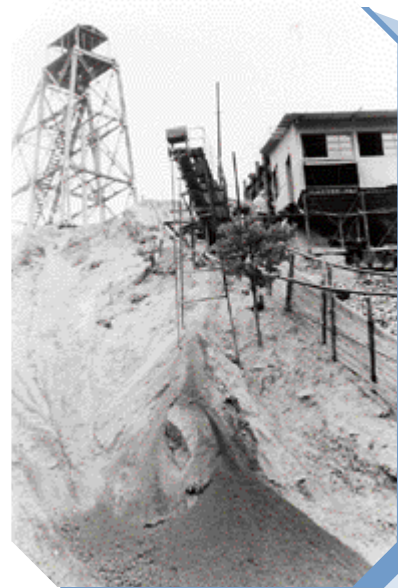
屏風岩付近でのボート遊び (大正年間)

大正10年、広根に地元有志が設立した旅客輸送会社「北摂自動車」が宣伝用に作った絵葉書のうち一枚です。



杉生の寒天工場 (昭和30年代)

猪名川町は、冬の気候が寒天づくりに適しているということから、明治20~30年代以降、寒天製造が盛んになりました。現在は、阿古谷地区で1軒だけが製造しています。



日本鉱業(株)多田鉱業所(昭和44年)

多田銀銅山の採掘は江戸時代が最盛期でしたが、何度か水が止まっていた。昭和29年に日本鉱業が調査を再開し、出水・坑道水没と闘いながら昭和38年に坑道を完成させました。

問、何度も出た。昭和48年、山さ。理探書か

## 後編集



今回の写真は、ニュータウンに住む私達には新鮮に、また、ずっと猪名川町に住んでいる人達には懐かしく思えたのではないのでしょうか。最近では、ビデオカメラなどの動画で記録を残すことが多くなっていますが、写真で残す1ショットの良さを感ずることができたような気がします。皆さんも家庭での秘蔵写真を探してみたいかがですか。【いながわ特派員】